

各位

会社名 株式会社 アイスタイル  
 代表者名 代表取締役社長 吉松 徹郎  
 (コード番号: 3660 東証第一部)  
 問合せ先 取締役 CFO 菅原 敬  
 (TEL. 03-5575-1260)

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2020年5月25日に公表いたしました2020年6月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年6月期連結業績予想数値と実績値との差異 (2019年7月1日～2020年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 27,600	百万円 △3,000	百万円 △3,100	百万円 △5,154	円 銭 △79.00
今回実績値 (B)	30,564	△2,325	△2,438	△5,020	△76.94
増減額 (B - A)	2,964	675	662	134	
増減率 (%)	10.7%	-	-	-	
(参考) 前期連結業績 (2019年6月期)	32,193	476	380	△519	△8.05

2. 差異が生じた主な理由

当社は、「新型コロナウイルス(COVID-19)」の影響を鑑み、2020年5月8日に業績予想の修正をいたしました。また、同月25日にも投資有価証券売却益の計上により業績予想の修正を行っております。5月8日の修正計画の前提といたしましては、当社グループが運営する国内店舗の大部分が、緊急事態宣言の要請を受け決算日である6月末まで休業する想定でありましたが、政府による5月下旬の当該宣言の解除に伴い、順次営業を再開したことで予想よりも上振れて着地いたしました。



また、当社グループが運営する EC におきまして、当初から政府による外出自粛要請に伴い需要の増加が見込まれていたものの、商品の欠品や配送に関する潜在的なリスクを懸念したことで上方修正を行わず、据え置きとしておりました。しかしながら、実際には当該リスクによる業績に対する影響も特段見受けられず、加えて普段 EC で販売しない商品を化粧品メーカーの判断により取り扱うことが出来たことにより、想定を上回って好調に推移いたしました。

以上の理由により売上高が予想を上振れ、それに伴い営業利益、経常利益、親会社株式に帰属する当期純利益が上回って着地いたしました。

以 上